

(特選)

☆花は葉に池に影置く学橋

進

小田原城の掘割にかかる学橋が水面に影を映している景を捉えて詠んだ。掘割に沿って葉桜の並木の緑が美しい。中七の『池に影置く』の措辞が優れている。

・青梅のほんのり赤み差してをり けんじ

大変素直な写生句である。見た景をそのまま平明に詠み止めたものだが、情景が鮮やかに目に浮かぶ。俳句は素直に平明に作る事が大切。

・聳え立つ白き天守や若葉風 繁好

小田原城の天守閣を仰いでいると折から木々の若葉を吹き抜けてくる気持ちの良風が。若葉の緑と天守閣の白との取り合わせが上手い。俳句は取合せの良し悪しで決まる。

(入選)

・薫風や笑顔乗せ来る豆列車 進

・学童の課外活動背に若葉 邦夫

・黙々と手入れ手早き菖蒲守 良月

・花菖蒲濃きも淡きもおのおのに かつを

・空の色含みそめたる七変化 進

(佳作)

・風薫る花の絵柄の豆電車 繁好

・鉢ごとに色を競ふや花菖蒲 進

・北条の遠き栄華や楠若葉 良月

・にはたづみに鳩の水浴び夏兆す 繁好

・犬槇の振れ際立つ走り梅雨 けんじ

・葉桜の並木城堀わたる風 良月

・万緑や背に聳え立つ天守閣 邦夫

・雨あがり明るくなりて花菖蒲 一江

・蓮の葉に溜まる水玉光をり 繁好

・大賀蓮雨水溜めて青々と かつを